

保健体育分科会 エデュスクラムの活用における成果と課題

	成果	課題
課題設定	<p>○調べながら生まれる次の課題もあり、単元の学習に有効なものが出てくることもあった。しかし、単元のねらいとずれているものもあり、確認する必要があることが分かった。</p> <p>○課題を出すときに、フローチャートやブレインストーミングを活用して、児童生徒の発想が広がるような工夫をしたことは効果があった。</p>	<p>○今回はあらかじめ、4つの課題が決まっていた。しかし、学習を進めていくうえで追加の課題が出てくることも考えられるので、時間の範囲内でそれもOKとした。限られた時間の中で、効果的な課題設定の方法を今後も探っていきたい。</p>
フリップやアイテム完成の定義	<p>○エデュスクラムでの最初の単元では用語や方法をオリエンテーションとしてしっかり教える必要のあることが分かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイテム (学習課題や発表・表現方法など) ・フリップの説明 (使い方) ・シェアの方法 (共通理解の仕方…報告だけでなく、ここで議論になるようなシェアができるとよい。) ・完成の定義 <p>○完成の定義の基準を児童生徒と一緒に考えていく方法もあるということが分かった。</p>	<p>○「単元のめあて」が学習のゴールとなるような開かれた (生徒が理解できる) 設定が大切である。</p> <p>○「完成の定義」とは、アイテムをフリップの「完成」の枠に置くことができる諸条件を表す。今回は「全員が納得する」「出典が明らかになっている」の2点とした。客観性 (班や内容によってばらつきがないように) を保つ必要があるが難しい。</p>
ブック	<p>○予め検索サイトを授業者側が絞り、調べるテーマが逸れないように設定した。方法としては、「QRコード」や「クラスルーム」に挙げて、いつでも見られるよう工夫した。</p> <p>○栄養教諭や養護教諭、体育科の教員などをゲストティーチャーに呼んで、話を伺う場面も設定できた。</p> <p>○単元のゴールを「健康な生活と病気の予防について、4つの項目を網羅して、スライドを作成して発表しよう」と設定し、完成の定義もブックに明記することで、取り組む内容が具体的になるよう工夫した。</p>	<p>○アイテムをすべてフリーにしまうとブックの作成が難しくなる。</p> <p>○ブックに教科書や副読本を使用すると学習の範囲が限られてしまい、同じ内容の発表などが多くなる。</p> <p>○指導者の考え方や児童生徒の学習経験でブックの構成方法は違ってくるので、定型的な作成は困難である。</p>

	<p>○発表の説明に納得したかを明らかにするために、発表を聞いた生徒がフォームで評価を作成し、発表後に集計した。評価が的確な生徒も多数おり、真剣に発表を聞いている様子が伝わった。</p>	
<p>協働的な 関わりを 促す手だて</p>	<p>○グループごとに、リーダーを決めて「協働的な学習」の中心者となることを事前に知らせた。役割は進捗状況を確認したり、自分以外のメンバーの状況を確認し、アドバイスをしたり、一緒に考えたりと仕事内容を明確にした。また、「アンケート」調査や「インタビュー」で聞くなど、調べる以外の方法を実践している児童生徒たちもおり、学習を自主的に進める姿が見られた。</p> <p>○学習の流れを明確に示すことで、自分の担当したアイテムを調べ、終わったら「完成の定義」にしたがって、グループで検討し、OKなら「完成」の欄に付箋紙を移動する作業が見られた。</p> <p>また、他のメンバーの課題と一緒に調べたり、自分の発表に向けて練習を行ったりする姿も見られ、協働的に学習する姿が見られた。</p>	<p>○児童生徒が協働的な学習を展開するためには、学習方法を理解して、互いの意見をシェアできる学習習慣や環境づくりが条件となる。日常の学習からそのことを意識して、授業の中で学習活動を展開する工夫が必要がある。</p>
<p>授業実践で 明らかに なったこと</p>	<p>○学習に関するアイテム出しを行うためには、ブレインストーミング等を事前に行うことは効果があった。</p> <p>○調べ学習では、「ミーティングタイム」「リサーチタイム」「シェアリングタイム」の3つのタイムを設定して、1時間の学習に組み、学習の流れを明確に掲示したことは、児童生徒が自律的・協働的に学習することにつながる。</p> <p>○ブックに QR コードや検索サイトを明示したり、教科書やドリルをブックとして活用したりすることで、効果的な時間の使い方ができることが分かった。</p> <p>○基本的に指導者が一人一人の学習や活動を価値付けてあげることで、児童生徒は常にフリップに立ち返ってやることの意義を理解することができた。</p> <p>○「アイテム出し」やその後の「調べ学習」で行き詰まったり、活動が停滞したりして、支援が必要な児童生徒には、課題解決に向けての寄り添った指導が大切であることも分かった。</p>	

